

特定非営利活動法人 感助 設立趣旨書

1 趣旨

我々のふるさとを活性化させる為には、課題解決により発展を促し衰退することがないようにしなければなりません。静岡県は、いずれ来ると言われている南海トラフ地震をはじめ、大きな自然災害の発生が予想されます。直近では台風10号で大きな被害を受けました。災害を防ぐことは出来ないまでも、その被害を防ぎ軽減することは出来ると考えています。防災訓練等のいわゆる一般的な防災の備えでは補いきれない予防策の重要性や、楽しみながら防災意識や知識を習得できる啓発イベントの必要性を訴えてきました。平成29年より菊川市において市民対象に任意団体として、子供でも楽しめるキャンプ事業を通じての防災啓蒙活動を行ってきました。いっぽう、地域の衰退を防ぎ発展を促すためには、防災に留まらず地域の課題解決を行い地域活性化に取り組む必要性を感じ、定期的に地域住民と情報交換を行うことで地域課題を把握し、行政等を巻き込んで課題解決に取り組んできました。しかし、これらの活動は一過性の任意団体による活動であるためメンバーの帰属意識も低く、組織としての事業の継続性や信頼性を十分に得ることができませんでした。今後、地域の行政、企業その他セクターとの協働を推進しながら防災や地域活性化に総合的に取り組むために、公益性高く持続可能な組織としてNPO法人を設立することにしました。

2 申請に至るまでの経過

平成29年1月 任意団体菊川地域振興フェスティバル実行委員会(team439)設立

地域振興となるボランティア活動やイベントの企画運営を通じて、菊川市全体の活性化と住みやすい街の基盤づくり

令和1年4月 菊川未来会議設立

菊川市を舞台に、NPO、行政、企業とゴミ拾いを通して交流を図る「ひろまちコラボ」や、地域の魅力発信のためのツアーを開催

令和6年8月 2つの任意団体の発起メンバーが同一であり実質、同一の団体であるから法人化により一本化する事を提起

8月 特定非営利活動法人化のための勉強会開催

発起人会開催

10月 設立総会開催

令和6年10月25日

特定非営利活動法人感助

設立代表者 氏名 小原 宏紀

